

図書館だより

2026年10月
No.318
辰野町立辰野図書館



今年も開催します！「令和8年度 図書館まつり」

【11月7日・8日 両日】

●スタンプラリー

対象の催しに参加したり、本を借りたりして、スタンプを3個集めると、プレゼントがもらえます。

●絵本折り紙&ジグソーパズル&つみき

辰高 JRC クラブと豊南短大のお兄さんお姉さんと楽しめます。



●謎解き図書館探検隊

大人も楽しめます。ぜひ挑戦してみてください。

●どうぞの本棚

絵本「どうぞのいす」に ちなんだ本の譲渡会。



●除籍本リユース

除籍になった図書館の本をお持ち帰りください。

丈夫な袋等をご持参ください。

※どうぞの本棚・除籍本リユースは、11/7～11月末までの予定ですが、本が無くなり次第終了します。

【11月7日（土）】

●アフリカの絵本と音楽

NPO 法人絵本で子育てセンター絵本講師の会長野県支部「こもれび」の皆さんによるおはなし会。

●ワークショップ

「アフリカのお面を作って遊ぼう」

ちいさなお子さんか楽しんで作れます。小3以下のおさんは、大人の方とご参加ください。

●朗読サロン in オータム

「声の会木魂」の皆さんによるすてきな朗読会

●まちとしょ茶房「紅茶」

紅茶でほっと一息いかがでしょうか。



【11月8日（日）】

●わらべうた大会

昨年大好評！子どもからおとなまで、できなくてもなくても楽しめます。

●まちとしょシネマ（DVD 上映会）

インド映画『スーパー30』を館内上映。

インドのチャイの試飲もできます。



●まちとしょ茶房「抹茶」

「豊南短大 茶道部」の皆さんによる

抹茶のおもてなし。



大人のホリテイ・くらぶと

「和本づくり体験」

11月3日（火・祝）13:30～15:30

参加費：300円

※定員になり次第締め切ります

要申込

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
10月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

■10月定例催し 申し込み不要

おはなしのへや	10日（土）	❖折り紙教室へは、おはなしのへやから引き続きご参加いただけます。 ❖ひまわりカードをお持ちの方はご持参ください。 ※セカンドブックは 11：00～です。
折 り 紙 教 室	10日（土）	
えほんのへや	16日（金）	
セカンドブック	31日（土）	
対象：令和5年9月生まれ		

辰野町立辰野図書館

〒399-0493 長野県上伊那郡辰野町中央1番地

Tel:0266-41-2574 FAX:0266-41-4820

休館日：毎週月曜日、年末年始（12/29～1/4）

開館時間： 火～土 10:00～18:00

日 10:00～17:00

一般書

今月の新着本

○ 電子書籍時代の紙の本の価値／柴田博仁	○ インド映画はなぜ踊るのか／高倉嘉男
○ なぜ、何も思いつかないのか？／小川仁志	○ 水平と垂直／佐伯一麦
○ CIA 禁書密輸作戦／チャーリー・イング リッソ	○ 先生が終わらない／額賀澤
○ 刑務所の文章教室／大塚敦子	○ 六人部屋の十三年間／頭木弘樹
○ こんなことで、死にたくなかった／高木徹也	○ 劇場の子イーディス・ハラー／イド・ワート・ケリー
○ 建築は不純につくられる／市川絃司	○ 翔べ、ワイルド・スワン／ユン・チアン
○ 旨い魚が食べたい！／ながさき一生	○ ペンギンの世界／上田一生
○ 活字の種をつくった人々／雪朱里	○ 恐怖の民俗学／島村恭則
○ キミもワタシも外国人／上方平和教育研究所	○ 南方熊楠、動物を語る。／松居竜五

暮らしに役立つ実用書

◆ さいほうの基本／KADOKAWA ライフスタイル編集部	◆ 目あそび・手あそび・足あそび／佐藤美代子
◆ ハットボトルキャップリサイクルアイデア BOOK	◆ 保育者と学生・親のための乳児の絵本・保育課題絵本ガイド
◆ バックグラウンドのことがマンガで3時間でわかる本	◆ 子どもと楽しむ科学の絵本 850
◆ パート・アルバイトの「年収の壁」実務マニュアル	◆ 旅する図鑑全国恐竜・古生物博物館ガイド
◆ 「ことばで伝える」ができない子どもたち	◆ うたって楽しい手あそび指あそび 120

今月のテーマ展示

今月のテーマ展示を、担当図書館員のコメントとともにご紹介します。

一般書

荻木のり子生誕 100 年 没後 20 年

20 歳の時に敗戦を経験した荻木のり子は、自身の感性に正直に、日々の普通の営みを大切にしながら、詩作を続けました。その言葉は、「自分の感受性くらい 自分で守ればかものよ」と、今を生きる人を、叱り励まします。

一般書

生誕 120 年 坂口安吾

1906 年に新潟県で誕生した坂口安吾。終戦直後に発表された『墜落論』『白痴』で評判を呼び、時代の寵児となります。太宰治らと「無頼派」を代表する作家として、型にはまらない独自の生き様は、小説・随筆・評論と多岐にわたり作品に残されています。

一般書

ノーベル賞

これからの時期、日本人受賞者が話題にのぼる「ノーベル賞」。今年はいかがでしょうか。当館では、各賞と共に、2010 年からの文学賞受賞者の作品を集めてみました。深まる秋と共に、ぜひ手に取ってみてください。

児童書

ミヒヤエル・エンデ『モモ』 日本翻訳刊行 50 周年

今年、ミヒヤエル・エンデ『モモ』は、日本語に翻訳されて 50 年になります。ながく読み継がれてきた『モモ』を知ってる人は多いのではないのでしょうか。ミヒヤエル・エンデの作品は、どこか社会問題を指摘しているような気がします。児童書ですが、大人にも読んでもらいたい作品です。

絵本

絵本でおでかけしよう

絵本の中にはたくさんのドキドキやワクワクがありますね。今回はそんな楽しい気持ちになる、お出かけや冒険が描かれている絵本を集めてみました。一緒にお話の中へ出かけましょう。



10/27(火)~11/9(月)
全国読書週間